

お読みいただくにあたって

この冊子「みんなどうしてる？」は、シングルファーザー（Single Father : SF）の方々やご家族にとって必要な情報を提供することを目的としています。そのため、SFの方々の実体験や考え方などをお聞きし、掲載する内容についてもご意見・ご感想を伺いながら完成させました。

日本においても川崎市においても、SFはとてとても少数派です。自分以外のSFに会うことがない方もいらっしゃるかもしれません。SFが子育てをしていくには、上手に他者の手を借りることが不可欠です。他のSFの生活や工夫などを知り、ご自分たちの生活の参考にさせていただけるなら、こんなに嬉しいことはありません。

自分だけががんばらなくてもいいように、「誰にも頼らず、自力でなんとかしなければならぬ、それが立派だ」という考えを、まずは見つめ直すきっかけに、この冊子が役に立つことを願っています。

また、夫婦で子どもを育てている男性にも、他の方々にも広く読んでいただきたいと考えています。SFも多様なこと、いろいろな困難に自力で立ち向かい、あるいは、周囲の力を借りながら日々の暮らしを成り立たせていることをご理解いただければと思います。

「シングルファーザー」という言葉は、他に「父子家庭の父」「父子世帯の父親」「ひとり親男性」などの言葉で表現されていることもあります。言葉の統一を図るよりは、情報を探して検索している方々に広く見つけてもらいたいからです。この冊子の他にも、これらの言葉でも探してみることで、より多くの情報を得ることができるでしょう。

なお、ここで使用している「シングルファーザー」とは、原則として、20歳未満の子どもと暮らす（同居の家族がいる場合も含む）配偶者のいない男性のことを指しています。

川崎市に暮らす父子世帯は約700世帯¹。

全国では、父子世帯は約22.3万世帯²。

児童のいる世帯（全国で約1,209万世帯）のうちの約0.8%³。

母子世帯は約5100世帯⁴。全国では約123.8万世帯⁵、児童のいる世帯のうちの約6.8%。

1：「川崎市の人口(1)－平成22年国勢調査一報告書」。ただし、父子のみの世帯です。
2：厚生労働省「平成23年度全国母子世帯等調査」。
3：厚生労働省「ひとり親家庭等の現状について」(平成27年)。
ここでは、「父子世帯」を「母のいない児童がその父によって養育されている世帯」としている。
4：「川崎市の人口(1)－平成22年国勢調査一報告書」。ただし、母子のみ世帯です。
5：厚生労働省「ひとり親家庭等の現状について」(平成27年)。全国での世帯数は推計値。



目次

どうして、シングルファーザーになったの？	4-5
仕事がある日の平均的な一日	6-7
家事をどうしてる？（炊事編）	8-9
子どもをどうしてる？（育児・保育編）	10-11
家事をどうしてる？（洗濯・掃除編）	12
娘の生理問題、どうしてる？	13
子どもと元妻の関係、どうしてる？	14-15
再婚問題、どう考えてる？	16
亡くなった妻のこと、どう伝える？	17
親の介護問題、どうしてる？どう考えてる？	18
支援情報・参考情報	19